

第12章 神明後遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

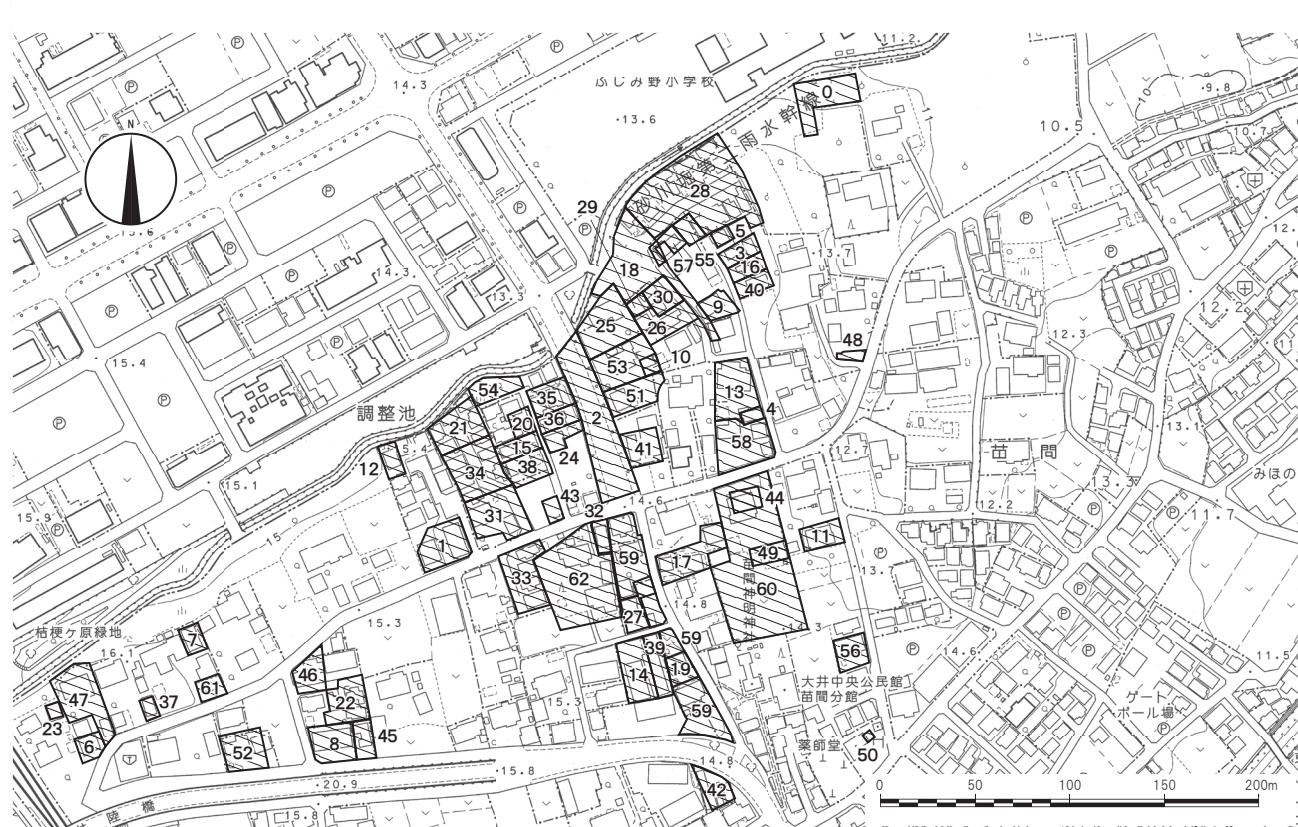
神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約300m、さかい川の谷頭部から約1,500m下った右岸に位置し、標高12～16m、現谷底との比高差は1.5mを測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡、苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い徐々に再開発が進みつつある。

本遺跡の最初の調査は1987年に大井町史編纂事業の一環として行われた。その後1993年に新駅へ延びる道路をはじめ、2022年4月現在62地点で試掘調査および発掘調査が行われている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。



第33図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 16 表 神明後遺跡調査一覧表

地区地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 (試掘)	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
1	苗間 281-1	1993.5.6～11	615.47		共同住宅	溝、須恵器片等		町内Ⅲ
2	苗間 295-2、299-3	1993.5.12～20	1,688		道路築造	古代住居跡 1、中近世掘建柱建物跡 多数、落とし穴、土坑、堀跡、井戸、 地下式坑		町内Ⅲ
3	苗間 309-12	(1995.3.24～29) 1995.4.3～5.19	200.03		分譲住宅	縄文時代住居跡 1、土坑、ビット、 縄文土器等		町内Ⅵ
4	苗間 302	(1996.6.17～19)	703.76		物置	遺構なし、縄文土器片		町内Ⅵ
5	苗間神明後 395-5	(1997.3.15) 1997.3.15～4.2	80.17		個人住宅	縄文時代住居跡 1、土坑、溝、縄文 土器		町内Ⅵ
6	苗間 255、227-2	(1997.9.29～30)	150.79		個人住宅	土坑、縄文土器片等		町内Ⅶ
7	苗間 260	(1998.6.1～2)	1,460		個人住宅	地下室、縄文土器等		町内Ⅷ
8	苗間 235-1	(1998.7.21～24)	458		共同住宅	集石土坑、土坑、溝、柵列、縄文 土器片		町内Ⅷ
9	苗間 310-1	(1998.9.1～11) 1998.9.14～10.15	219		共同住宅	縄文時代住居跡 4、集石土坑、落と し穴、土坑、ビット、井戸、地下室、 縄文土器等		町内Ⅷ
10	苗間 298-1	(1999.9.16)	44	(3)	個人住宅	遺構なし、縄文土器片		町内Ⅸ
11	苗間 366	(1999.10.21) 1999.10.22～26	239	(97)	個人住宅	土坑、ビット、縄文土器等		町内Ⅸ
12	苗間 282-2・5	(2000.3.6)	211	(8)	共同住宅	遺構遺物なし		町内Ⅸ
13	苗間 302-1	(2000.4.17～19)	694	(154)	個人住宅	土坑、ビット、縄文土器等		町内Ⅹ
14	苗間 252-2	(2000.8.18～23)	357	(196)	共同住宅	中近世掘建柱建物跡 1、土坑、ビッ ト、溝、井戸、柵列、縄文土器等		町内Ⅹ
15	苗間 293-15	(2001.4.11) 2001.4.12～13	163	50	個人住宅	集石土器、縄文土器片		町内Ⅺ
16	苗間 309-14	(2001.7.23～24) 2001.7.25～9.3	165	189	個人住宅	竪穴状遺構、屋外埋甕、土坑、ビッ ト、溝、地下式坑、地下室、縄文 土器等		町内Ⅺ
17	苗間 369-1	(2002.3.28)	581	(7.5)	個人住宅	溝、砥石		町内Ⅺ
18	苗間 304-1、303-6	(2002.5.15～25) 2002.5.27～6.24	672	(220)	分譲住宅	縄文時代住居跡 5、炉穴、土坑、溝、 ビット、堀跡		町内Ⅻ
19	苗間 264-4	(2002.9.18～20)	216		個人住宅	溝		町内Ⅻ
20	苗間 293-11	(2003.1.14～15)	143		個人住宅	ビット、溝		町内Ⅻ
21	苗間 283-1	(2003.1.10～30)	674		土地造成	土坑、ビット、井戸、地下室、段切、 陶磁器		町内Ⅻ
22	苗間 235-2・3	(2003.7.8～29)	430		分譲住宅	土坑、ビット、溝、井戸、陶磁器		町内Ⅻ
23	苗間 253	(2004.4.9)	62		個人住宅	地下室、銭貨		町内Ⅻ
24	苗間神明後 293- 4・10	(2004.9.30～10.7)	148		個人住宅	遺構遺物なし		町内Ⅻ
25	苗間 295-1	(2004.9.30～10.7)	660		店舗併用住宅	遺構遺物なし		町内Ⅻ
26	苗間神明後 301、 303-3～5・7、304-1	(2005.6.1～8) 2005.6.15～30	689	(160)	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、土坑、溝、地下 式坑、縄文土器等		大調 18
27	苗間 248-2、249-1	(2005.7.20～25) 2005.7.27～29	385	(80)	共同住宅	縄文時代住居跡 1		大調 18
28	苗間神明後 306-1	(2006.5.8～31) 2006.6.29～10.5	2,171	(1,200)	宅地造成	縄文時代住居跡 11、古代住居跡 1、 屋外炉、集石、落とし穴、土坑、ビッ ト、溝、堀跡、縄文土器		市内 3
29	苗間神明後 303- 21・24	(2006.5.8～11) 2006.5.12～19	135.9	(52)	個人住宅	ビット、溝、縄文土器		市内 3
30	苗間神明後 303-1	(2006.5.8～19) 2006.12.14～19	101.13	(60)	個人住宅	ビット、縄文土器		市内 3
31	苗間神明後 284	(2007.8.3～7)	499	(72)	個人住宅	土坑		市内 4
32	苗間神明後 247-2	(2008.3.13)	136	(31)	個人住宅	遺構なし、泥面子		市内 4
33a	苗間 240-2	(2008.4.25～5.16)	298	(209)	個人住宅	落とし穴、土坑、ビット、溝、井戸、 陶磁器等		市内 6
33b			357		分譲住宅			
34	苗間字神明後 283- 1、284-1 の一部	(2008.4.30～5.15) 2008.5.16～28	1,693	(357)	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、集石、落とし穴、 ビット		市内 5
35	苗間字神明後 293- 6・20	(2008.8.1)	247	(26)	個人住宅	ビット、遺物なし		市内 6
36	苗間字神明後 293-3	(2008.9.2)	165	(37)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 6
37	苗間 258-1 の一部	(2009.4.13) 2009.4.15～30	120	(27) 32.5	個人住宅	縄文時代住居跡 1、縄文土器		市内 8
38	苗間字神明後 292- 13、293-1	(2009.7.6～7) 2009.7.8～14	265.4	(118) 30	個人住宅	溝、縄文土器		市内 8
39	苗間字神明後 264-1	(2009.8.5～12) 2009.8.24～9.1	378	(114) 105	共同住宅	落とし穴、土坑、ビット、溝、地 下式坑、縄文土器		市内 7

地区地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 (試掘)	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
40	苗間 309-1	(2009.11.9～16) 2009.12.18～ 2010.1.15	156	47 (77)	個人住宅	竪穴状遺構、集石土坑、土坑、ピット、溝、井戸、地下式坑、縄文土器		市内 8
41	苗間字神明後 298-1、299-1 の各一部	(2010.5.25～6.7) 2010.6.15～7.21	486.36	(400) 286	共同住宅	中世掘立柱建物跡 1、竪穴状遺構、石器集中、集石土坑、土坑、ピット、溝、木炭窯、石器 等		市内 9
42	苗間神明前 380-3	(2010.6.1～2)	312	(44)	宅地造成	遺構遺物なし		市内 10
43	苗間 292-14	(2010.10.20～22) 2010.10.22	107	(42) 10	個人住宅	ピット、縄文土器 等		市内 10
44	苗間神明後 367-1、368-1 の一部	(2011.7.8) 2011.7.11～13	1,535.9	(63) 21	個人住宅	落とし穴、遺物なし		市内 14
45	苗間神明後 235-9	(2011.12.5)	200	(61)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 14
46	苗間神明後 235-6	(2012.4.9～10)	233	(52)	個人住宅	土坑、縄文土器片		市内 15
47	苗間神明後 227-2	(2012.4.24) 2012.4.25～5.10	340	(55) 27.5	個人住宅	集石、ピット、縄文土器片		市内 15
48	苗間神明後 315-1 の一部	(2012.5.7) 2012.5.8～14	171	(44) 26	個人住宅	土坑、ピット、溝、井戸、縄文土器等		市内 15
49	苗間神明後 367-1、368-6	(2013.1.30)	1,411.3	(8)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 15
50	苗間 375	(2013.12.11)	531.8	(31.7)	薬師堂	土坑、磁器 等		市内 18
51	神明後 295-1、297-1・2 の一部、298-1、299-1	(2014.11.5～13) 2014.11.20～25	487.33	(116) 42.5	共同住宅	土坑、溝、縄文土器		市内 16
52	苗間字神明後 231-1	(2015.1.28)	379	(44.4)	個人住宅	ピット、縄文土器片		市内 20
53	苗間字神明後 298-1	(2015.3.19)	495	(14.5)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 20
54	苗間字神明後 293-7・9	(2015.12.3)	342	(6)	共同住宅	遺構遺物なし		市内 22
55	苗間字神明後 310-1 の一部	(2017.5.8) 2017.5.9～12	180	(28) 27.44	個人住宅	縄文時代住居跡 2、土坑、ピット、縄文土器等		市内 24
56	苗間字神明後 374-34	(2019.11.11)	255.58	(30.3)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 25
57	苗間字神明後 310-9	(2020.1.21)	146	(15.46)	個人住宅	遺構なし、縄文土器		市内 25
58	苗間字神明後 301-1	(2020.6.26・29)	732.41	(35.7)	個人住宅	堀跡、縄文土器等		市内 26
59	苗間字神明後 248-2、249-1	(2021.9.6)	836.67	(62.75)	建物解体	ピット、落とし穴、土坑、堀跡、溝、井戸、縄文土器、陶磁器、古銭		市内 27
	苗間字神明後 248-1、264-2、264-4、250-5、251-9	(2021.7.7・7.12～21) 2021.7.26	1,013	(414.5) 62	道路整備			
	苗間字神明後 248-6、249-4	(2021.9.17) 2021.9.21	456.59					
	苗間神明後 250-2	2021.12.15・16	128					
60	苗間 367-1、368-1・4・5・6	(2021.9.7～14、 2022.1.5～14) 2022.1.17～21	2,909	(909.4) 60	分譲住宅	大型土坑、井戸、ピット、溝、土人形（天神様）かわらけ、陶磁器、縄文土器等		市内 27
61	苗間神明後 260 の一部	(2021.9.22)	255	(43.74)	個人住宅	土坑、ピット、溝、縄文土器等		市内 27
62	苗間神明後 246-2、247-3	(2021.11.4・5)	133.32	(52.8)	個人住宅 付属倉庫	遺構遺物なし		市内 27

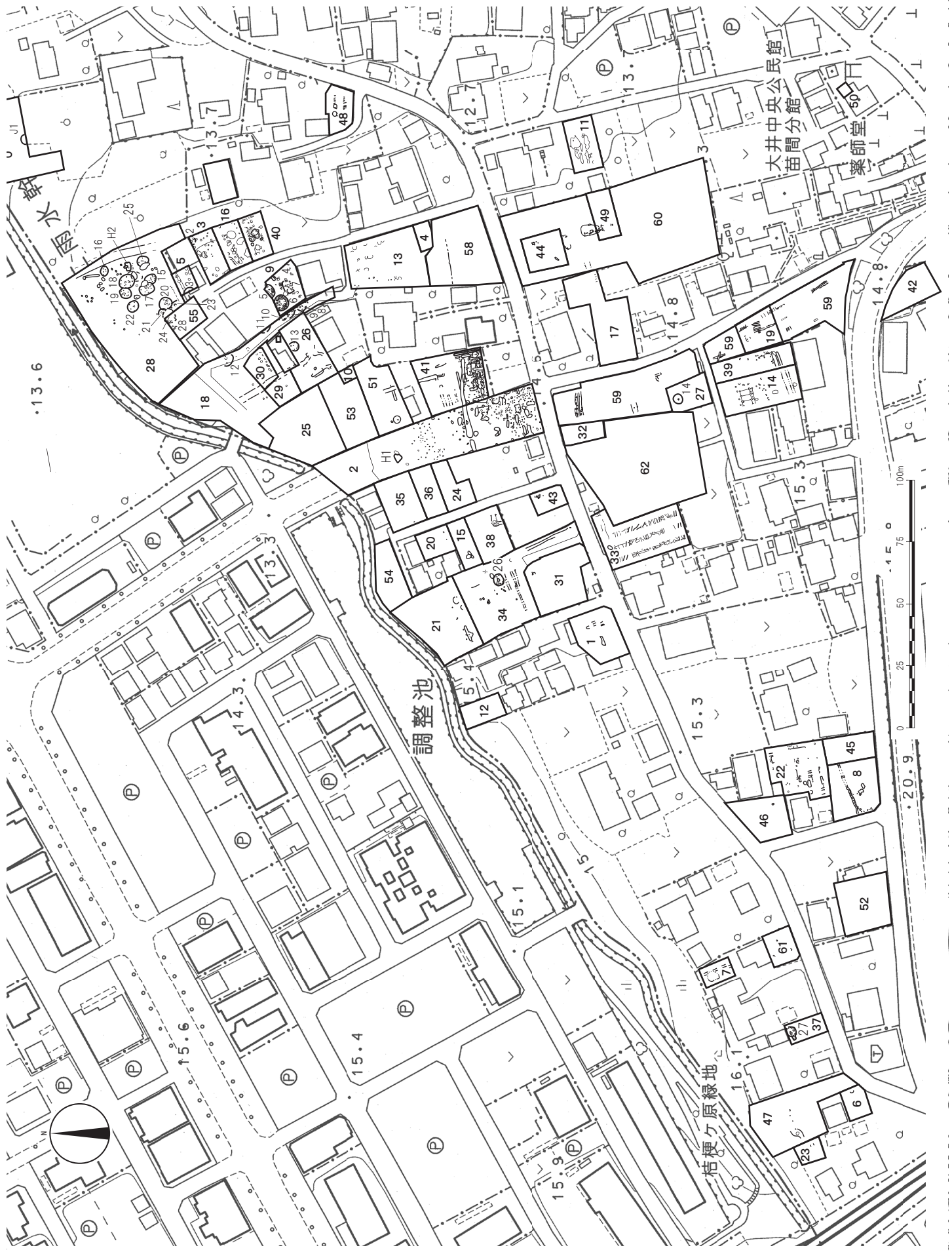
II 神明後遺跡第 61 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2021 年 8 月 24 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2021 年 9 月 22 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 4 本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 60～90 cm である。

調査の結果、土坑 2 基とピット 2 基、根切り溝を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第 34 図 神明後遺跡遺構分布図 (1/2,000)

(2) 遺構と遺物

①土坑

【土坑1】土坑1は調査区南西部で検出した。一部しか確認できていないため平面形態は不明。確認面の規模は83×(45)cm、底部は64×(36)cmで、深さは12cmを測る。

【土坑2】土坑2は調査区中央部で検出した。一部はトレンチ範囲外で確認できていない。確認面の規模は(55)×46cm、底部は27×21cm、深さは40.1cmを測る。平面形態は円形である。

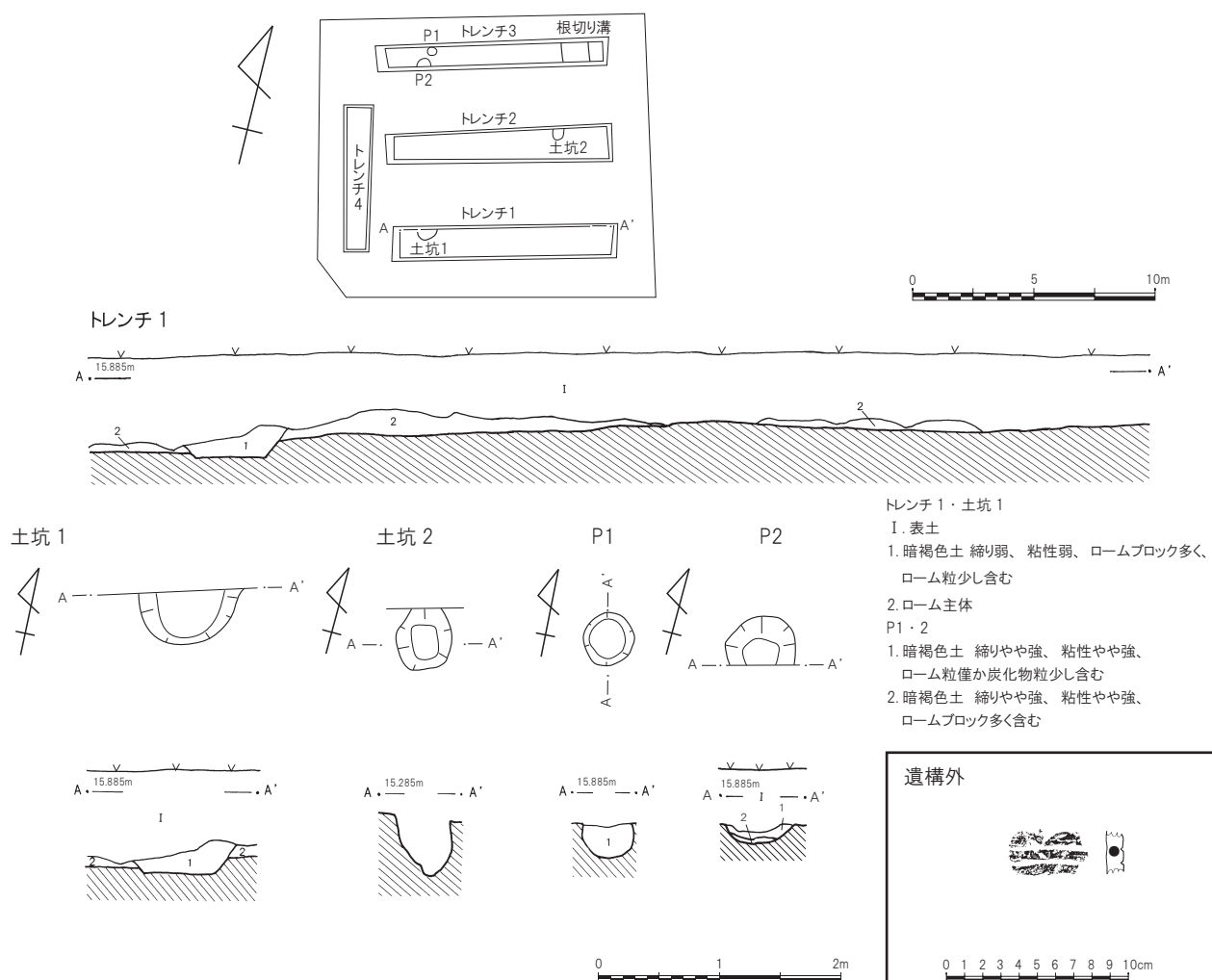
②ピット

【ピット1】ピット1は調査区北側で検出した。平面形態は円形。遺構の規模は確認面45×42cm、底部は34×30cm、深さは29.1cmを測る。堆積土には炭化物が含まれていた。

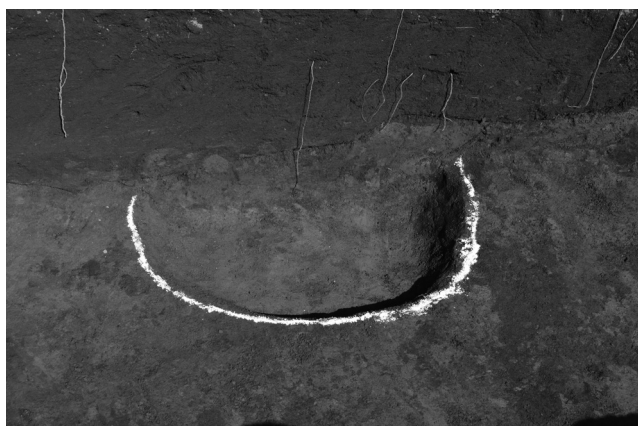
【ピット2】ピット2はピット1の南側で検出した。南半分がトレンチ範囲外のため確定はできないが、残存形態より円形と思われる。遺構の規模は確認面59×(59)cm、底部は30×26cm、深さは16.1cmを測る。

③出土遺物

遺構外から縄文土器片が出土した。横位の沈線が二本引かれており、胎土には雲母がみられる。縄文時代中期。



第35図 神明後遺跡第61地点遺構配置図(1/300)、土層・土坑・ピット(1/60)、出土遺物(1/4)



神明後遺跡第 61 地点土坑 1

西ノ原遺跡第 180 地点
遺構外



神明後遺跡第 61 地点
遺構外



西ノ原遺跡第 180 地点、神明後遺跡第 61 地点出土遺物



神明後遺跡第 61 地点トレンチ 1 土坑 1



神明後遺跡第 61 地点トレンチ 3 ピット 1・2



神明後遺跡第 62 地点トレンチ 2



神明後遺跡第 62 地点調査風景